

平成 26 年度 事業計画

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日

日本の経済状況は、昨年来の「アベノミクス」効果により一部では景気回復の兆しが見えてきています。しかしながら今年 4 月からの消費税増税等もあり、まだまだ先行き不透明な状況です。また、雇用情勢については依然として厳しさが残ることが予想されます。

このような中、超高齢化社会において、シルバー人材センターは、地域の高齢者が培った知識や経験を活かし、地域で元気にいきいきと活動される場として不可欠な存在となっており、その役割はますます重要になってきています。また、こうしたシルバー事業は、高齢者の社会参加を促し、高齢者医療費などの社会保障費の節減に繋がります。しかしながら、近年のシルバー事業の実績を見ますと、全国的にも受注件数は伸びているものの会員数及び契約金額は減少傾向となっており、運営は厳しい状況です。

当シルバー人材センターにおいても運営は厳しい状況ではありますが、平成 26 年度の年間契約金額を 3 億円の目標とします。

次に重点課題については、一つ目は「公益認定基準」の遵守です。これを達成するため、まず今まで以上に地域社会から一層の信頼が得られる法人として活動していきます。そのために運営の透明性を高め、

事務事業の効率化や安定した組織の維持管理等に努めます。

二つ目は、団塊世代の加入により会員の増加が予想されるので、新規就業先の開拓と就業場所の拡大に努めます。

三つ目は、会員の「技術・技能」向上を図るため研修会、講習会等の開催に取り組みます。

これからも、シルバーの基本理念「自主・自立、共働・共助」に基づき、会員一人ひとりが創意・工夫を重ね、シルバー人材センターの意義・役割を再認識するとともに、これまで培った豊かな経験と技術と知恵を活かしながら地域社会に貢献できるよう、会員のご協力を頂き役員・職員が一丸となって以下の事業課題と実施計画に取り組んでいきます。